

新井市長就任からこれまでと今後の施策

藤岡市の歩み

全国から注目を集めるまちへ



藤岡市まちづくりビジョンの4つの柱に基づいて『10年、20年先の都市環境を創造するまちづくり』を推進

1 住環境整備による住みよさが持続するまちづくり

- ① 保健・医療・福祉施策の推進 ② 防災機能の強化 ③ 公共施設・公共交通の整備

実績

- 「元気サポートセンターふじの花」の開設
- 鬼石病院に地域連携医療センターを設置
- 防災公園の整備による、地域防災力の向上
- 通学路等の危険箇所を解消する子ども安全対策事業
- 神流川からの安定水利権の取得

安全・安心を届ける

現在進行中

- 健康寿命県内1位を目指し、健康を増進するための筋力トレーニング、ノルディックウォーキングの普及
- 図書館を核とした複合施設の整備



- 新火葬場の整備



市民の健康、元気を増やし、
更に安全・安心な暮らしやすいまちへ

2 高速交通・拠点性を活かした産業発展のまちづくり

- ① 産業基盤の強化 ② 地域産業の育成 ③ 観光資源の磨き上げ

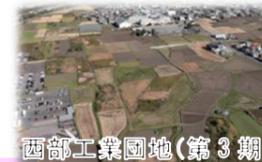
実績

- 藤岡インターチェンジ西産業団地の整備
- 藤岡北部工業団地（第2期）の整備
- 東平井工業団地（第2期）の整備
- 市制施行65周年記念花火大会を開催

夜空に咲いた
1.5万発超の花

現在進行中

- 各重要路線及び新規幹線道路の整備（北部環状線・インター北口線2期・森本郷線など）
- 新たな工業団地の整備（西部工業団地（第3期））
- 魅力度の更なる向上を図る桜山公園整備事業



人とモノと経済が還流する
全国一の産業交流拠点へ



3 豊かな自然資源を活かした環境共生のまちづくり

- ① 豊富な自然資源の活用 ② 力強く持続可能な農業の実現 ③ 自然・歴史文化の継承

実績

- 2050年に向けた「ふじおか5つのゼロ宣言」
- ほ場整備による農地の集約化
- デジタル博物館アーカイブ事業の推進
- 「笑う埴輪」群馬 HANI-1 グランプリ1位獲得

コンテンツ
拡大中!

現在進行中

- ふるさとの木で家づくり支援事業による地域材の活用促進
- 観光農園プロジェクトの推進（観光農園団地検討部会の設置）
- 世界文化遺産「高山社跡」の保護・保存・普及と景観の整備



4 地域を支える人と絆を育むまちづくり

- ① 地域コミュニティの維持・強化 ② 子育て支援・教育施策の推進 ③ 地方創生・地方回帰の促進

実績

- 地域コミュニティの維持・強化構想の策定（公民館大規模改修 令和4年度完了予定）
- 花と緑のぐんまづくりを市の独自事業として継続
- すこやか教室（7か月児相談）の実施

市民協働の
まちづくり

現在進行中

- 各地区の公民館を「地域づくりセンター」へ移行
- 小中一貫教育・コミュニティスクールの更なる推進及び学校施設改修による教育環境の整備
- 地域力創造アドバイザーの活用による市の魅力発掘



5 新型コロナウイルス感染症への対応とウィズコロナ施策

これまでに実施した支援策

住民生活支援

- 全世帯に感染予防グッズ（マスク・マスクケース・ハンドソープ等）配布
- 一律 10 万円の特別定額給付金を、県内 12 市で最も早く給付

子育て支援

- 経済的支援のため、新生児のいる世帯へプレミアム商品券 10 万円分発送
- 子育て世帯への臨時特別給付金の給付範囲の拡大

高齢者支援

- 70 歳以上の一人暮らし高齢者へマスクや熱中症予防物品を配布
- 「藤岡市モデル」によるワクチン接種の実施、会場への高齢者の送迎支援

事業者支援

- プレミアム率 30%のプレミアム商品券の発行、事業者特別支援金の給付
- 売上高の減少した事業者に対する事業者継続支援金の支給



今後実施を予定する地域経済・住民生活支援（令和 4 年 6 月議会補正予算分）

- 原油価格高騰の影響を受ける中小運送事業者等が購入した燃料費に対する補助
- 令和 4 年度も引き続き、高齢者が自宅で安全に過ごすため熱中症予防物品を配布
- 自宅療養となった方などに対して食料品、感染防止物品などを配送
- 保育施設に対する必要経費の補助及び小中学校に対する感染予防物品の配布
- 事業所の「事業再構築補助金」に係る申請相談、販路開拓セミナー開催等の支援
- 市内の観光地や商店街への誘客を促進するため、藤岡市の魅力を再発信 ほか

➡ ウィズコロナにおける新しい日常性格の安全・安心を実現する

6 市役所の業務改善（行政改革の推進）

- 市公式ホームページのリニューアル、SNS の拡充（Instagram、LINE）
- 各種申請等における押印原則の見直し・会計手続きにおける請求書の押印省略
- 事務事業の改善（令和 4 年度、消耗品管理、複写機借上、食糧費などの見直し）
- 組織機構の再編（令和 4 年度、元気長寿課、企画課未来創生係の新設など 1 係削減）
- デジタル化の推進（電子申請受付システムの普及拡充、ペーパーレス会議の導入など）
- 市の未来を創り生み出すため、「藤岡市未来創生本部」を設置

